

**共同利用実施報告書(研究実績報告書)**  
(特定共同研究(A)、特定共同研究(C))

1. 課題番号            2014 -A01- (※2501)  
 ※特定共同研究 A01 の場合、地震火山災害軽減研究課題番号を記入

2. 研究課題名 (和文、英文の両方をご記入ください)  
 和文：電磁氣的先行現象の観測と統計評価による他種の先行現象との比較  
 英文：Observations of in electromagnetic precursory phenomena and statistical evaluation of the multidisciplinary precursory phenomena

3. 研究代表者所属・氏名 長尾 年恭  
 (地震研究所担当教員名) \_\_\_\_\_

4. 参加者の詳細と旅費使用概要 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	出張先	出張期間	旅費支給の有無 ※特定(A)のみ
織原義明	東京学芸大学・研究員	東海大学地震予知研究センター	7月24日	
筒井 稔	京都産業大学・教授	AOGS 2014 (札幌)	7月30-8月3日	
上田誠也	東京大学・名誉教授	東海大学地震予知研究センター	8月28-29日	
鴨川 仁	東京学芸大学・准教授	東海大学地震予知研究センター	8月28-29日	
鴨川 仁	東京学芸大学・准教授	東海大学地震予知研究センター	9月5-6日	
織原義明	東京学芸大学・研究員	地震学会 (新潟)	11月24-25日	
織原義明	東京学芸大学・研究員	東海大学地震予知研究センター	12月26-28日	
鴨川 仁	東京学芸大学・准教授	東海大学地震予知研究センター	12月26-29日	
鈴木智幸	東京学芸大学・研究員	東海大学地震予知研究センター	12月28日	
織原義明	東京学芸大学・研究員	東海大学地震予知研究センター	2月12-13日	
鴨川 仁	東京学芸大学・准教授	東海大学地震予知研究センター	3月7-10日	
鴨川 仁	東京学芸大学・准教授	小笠原・父島	3月27-4月1日	
鈴木 裕子	東京学芸大学・修士学生	小笠原・父島	3月27-4月1日	

5. 参加者が分担した役割 (200-400 字程度で記入してください)

2501 の本体計画では、2014 年度に VLF 帯パルス電磁波観測装置の開発およびテスト観測が計画に盛り込まれている。この新規開発装置のテスト観測 (センサーの検定を含む) を東京学芸大学の研究者と共同で実施した。また京都産業大学の筒井教授は長年 VLF 帯の観測に従事しており、従来の知見を取り入れる事により、ソフト開発について大幅な時間短縮をする事が可能になったと考えている。

さらに 2501 では、多種の先行現象について統計的処理が可能なデータベースを作る事を目的の一つとしているが、2014 年度は国土地理院の F3 解を用いた地殻変動データの解析を学芸大の織原研究員を中心に実施した。

6. 研究実績 (論文タイトル、雑誌・学会・セミナー等の名称、謝辞への記載の有無)

<学会発表>

Tsutsui, M., Radiations of Co-seismic Electromagnetic Pulses from the Ground, IG27 - Interdisciplinary Approach to Study Crustal Activities by Ground and Space Observations, AOGS in Sapporo, July 28-Aug 1, 2014. (謝辞に記載なし)

(<http://www.meetmatt-conf.net/aogs/aogs2014/mars2/pubViewAbs.asp?sMode=session&sId=36&submit=Browse+Abstracts>)

Nagao, T. and M. Kamogawa, The current status of the Japanese national EQ prediction research project and a proposal for EM pulse observation in VLF band, EMSEV 2014 in Poland, September 220-26, 2014.(謝辞に記載なし)

(<http://emsev2014.cbk.waw.pl/images/Abstracts.pdf>)

織原義明、野田洋一、鴨川 仁、長尾年恭、日本周辺における海洋性哺乳類の漂着および深海魚の捕獲と地震との関係、日本地震学会秋季大会 (新潟)、2014 年 11 月。(謝辞に記載なし)